



3 月 号

平成30年2月28日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## 共にハンドメイドで

校長 天野 直美

1月31日、最後の創立50周年事業実行委員会が開催され、委員の皆様から「事業に関わることができて良かった、楽しかった。」との声をいただきました。本当に感謝の言葉しかありません。実行委員会の企画や運営を静かに見守り、マスコット「ひなぼん」の着ぐるみを作成してくださった長谷川実行委員長、記念誌の表紙を最高のショットにするために、何日も学校に通ってくださった齋藤副実行委員長、式典・祝賀会にむけ、綿密な計画・連絡調整をしてくださった海野副実行委員長、ひなぼんピンバッジの作成など様々なアイデアで盛り上げてくださった鈴木PTA会長、東会の代表として支えとなってくださった百武会長。事業がすべて終わった今も、長年にわたってPTA活動に携わっていただいた実行委員の皆様全員による手作りの記念事業の温かみが、愛のそよ風のように東中田小学校の児童と職員の心に吹き渡っています。

2月半ば、千賀実行委員会事務局担当からお話を聞く機会がありました。千賀さんがPTA会長の時、PTA役員さんが本部の活動を楽しく協力して進めることができるよう、自作のビーズアクセサリを作り、役員さんに手渡したそうです。千賀さんのPTA活動に寄せる当時の思いが伝わってきました。手作りするには時間と手間がかかります。また手作りは自分試しです。自分の思い描く完成図とはほど遠い作品になってしまうことが多々あります。自分の目標に向かって、作り始めたら投げ出さず最後までやり遂げなければならない厳しさもあります。しかし、オリジナルの作品を生み出す楽しみがあります。唯一無二の宝物です。作り終えた時に自分の知識・技能も高まります。ものづくりを通して他者と自分を比べ、自分の力量や他者を認める客観的な見方も身につけることができます。

私は今年度4月に着任し、「ハンドメイド」を合言葉に学校経営を行って来ました。東中田小学校の子ども達一人ひとりこそ、東中田小学校の教職員と保護者の皆様の協力で育てた「ハンドメイド」の作品であると思います。子ども達のよさを認め、心に寄り添い、可能性を広げることを、教職員と保護者が共に1年間取り組めたということが大変うれしく思います。これからも子ども達を育てる取組は続きます。新学習指導要領をもとにしたカリキュラム作成にも着手せねばなりません。ぜひ皆様のご理解ご協力を賜りたいと願っております。

最後にずっと編み続けてきた「平和の靴下」が完成しました。残念なことにサイズが微妙に違いました。次は同じサイズにできるように頑張ろうと思います。1年間ありがとうございました。

